

# 保幼小連携だより No.18

保幼小連携だよりでは、『宗像市幼児教育振興プログラム』に基づく保育所・幼稚園・認定こども園と小学校・義務教育学校との連携のための取り組みを紹介します。（市のHPにも掲載しています。）

（発行元）宗像市 子ども子育て部 子ども育成課 Tel.0940-36-3181

## ○保幼認小義連絡会「情報交換会」

6月14日に宗像市役所で保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・義務教育学校連絡会を開催し、49名の先生方が参加しました。

園で過ごした子どもたちの様子と入学後の学校生活の様子を語り合い、情報交換を行うことで相互理解を図ることができました。

今年度は、保育協会から差し入れをいただきカフェコーナーを設け、リラックスした雰囲気の情報交換を行うことができました。

参加の先生からは「就学後の様子をこまかく聞くことができ、とても良かった」「連絡先を交換できる名刺を準備してくださり、とても助かる」という感想がありました。

園と小学校との連携・接続を図るよい機会となりました。



小学校1年生の担任と昨年度年長児の担任とで、子どもの様子を共有！



情報交換の後も、相談できるように行っている「名刺交換」



リラックスしてゆっくりお話しできる「カフェコーナー」

## ○第1回 幼児教育と小学校教育の円滑な接続に関する研修会

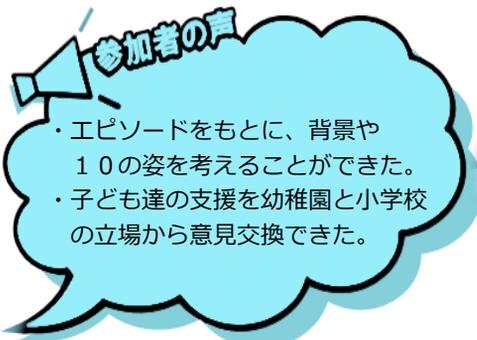
6月26日に福岡教育大学附属幼稚園で宗像市保育所保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭研修会を開催しました。対象者は市内の保育士、幼稚園教諭、保育教諭、小学校教諭32名が参加しました。

子どもたちが夢中になって遊んでる姿や先生方の声かけや関わり方を熱心に参観する姿が見られました。

参加者からは、「何より先生方の声かけが、幼児の主体性を引き出すもので大変素晴らしいと感じた」「先生方が穏やかで、落ち着いた雰囲気の中で、保育されているのが印象的だった。」という感想がありました。保育参観、意見交換を通して、発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育及び学校教育の充実を図る研修となりました。



「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を視点に置きながら参観し、意見交換をしました。



～生き物わくわく～  
何を食べるの？疑問いっぱい。  
図鑑で調べてみよう！

## ○第1回 幼児教育研修会

7月19日に宗像市役所で保育所・幼稚園・認定こども園の加配職員を対象とした研修会を開催し、20名が参加しました。

療育サポートセンターKOTOIRO宗像 益田美咲氏を講師に迎え、「困り感を探ろう！」というテーマの講義とグループ協議を実施しました。

参加された先生方からは「困っている姿を具体的に特性として捉えることで、支援の仕方も具体的に知ることができた」「色々なケースの子の様子をグループで討議して、自分にはない考えや気づきがあってとてもよかった」という感想がありました。

子どもの特性や具体的な支援方法を知ることによって専門性の向上につながり、子どもの対応の理解が深めることができました。



困っているのは誰？何に困っているの？  
どんな支援を必要としているの？  
とても熱心にきかれていた先生方



感覚統合について、事例ごとに理解を深めることができました

## ○第2回 幼児教育研修会

8月19日に宗像市役所で保育所・幼稚園・認定こども園の保育者を対象とした研修会を開催し、20名が参加しました。

北九州市立大学文学部人間関係学科 山下智也氏を講師に迎え、「子ども主体の遊びを支える環境づくりと保育者の関わり」というテーマの講義とグループ協議を実施しました。参加者からは、「させられ体験ではなく、“遊び”を日々楽しめる工夫をしていきたい」「遊びの型にこだわらず、子どもの発見した遊びを大切にしたい」という感想があり、保育者の資質及び専門性の向上を図る研修となりました。

～小グループで自己紹介～

- ・呼んでほしい名前
- ・好きなものをたくさん！  
(1つだけはウソを記入)
- ・子どもとの「ほっこりエピソード」  
のタイトル



ユニークな自己紹介では、「緊張が和らぎ、和やかに話すことができた」という感想がありました

アフォーダンスの紙のワークでは、はじめに生まれた発想から広がる展開を楽しむ先生方